

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第197号

令和元年(2019)8月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-22-3 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

ホンコンカポック

小山二丁目で見られる「ホンコンカポック」。日本の正式名称は「シェフレラ」、和名「ヤドカリフカノキ」、一般には「カポック」で知られています。艶があり、手を広げたように丸い上向きの葉が特徴です。風水上、人の気持ちを落ち着かせる作用があり、玄関に置くと幸運がやってくると言われています。

5~7月になると葉の先に棒状の穂を出して、蕾もでき、赤、白、黄色の小花が、タコが逆立ちしたように咲きます。秋にはオレンジ色の実がなります。

原産地は台湾、中国南部には、150種類もあります。

花言葉は、「実直」「とても真面目」です。ドイツの博学者「シェフラー」にちなんでの名前だそうです。

(小山二丁目 東部町会
・山内 静子)



荏原第一地区区民まつりが、7月13日(土)に、スクエア荏原で開催されました。入場者数は5936人でした。13時にスタートし、開会式には濱野区長をはじめ、戸田区民まつり実行委員長、スクエア荏原の梶館長などが出席されました。



フィナーレは華やかな盆踊り

区民まつり大盛況
スクエア荏原に5900人

を作りました。また、子どもまつりも大盛況。ステージ発表では、この日のために練習に励んできた子どもたちが、ダンスや吹奏楽などのステージを披露し、観客から盛大な拍手が送られています。地区委員会によるブースでは、キラキラ絵や射的、缶バッジ作り、ローラーコースターなど、盛り沢山。子どもたちの笑顔がはじけていました。

そしてまつりの最後は、恒例の盆踊りで締めくくられました。品川音頭2017の曲に合わせて盆踊りがスタート。力強い太鼓の音色に合わせて、やぐらを囲み輪になって踊る踊り手の舞は、会場を一層華やかなものになりました。(事務局)

千鳥会が準優勝

第16回品高連輪投げ大会

第16回品高連輪投げ大会が6月27日(木)、高齢者クラブ52チームが参加して、品川区立総合体育館で開催されました。

熱戦の結果、荏原第一管内では小山台一丁目町会千鳥会が準優勝に輝きました。小山五丁目町会の松寿会は6位に入賞しました。(事務局)

防災☆ワンポイント

(東京都発行「東京防災」より)

●安全避難チェックポイント



人混みはパニックに注意

人混みの中で突然走り出すなどの行動がパニックを引き起こし、事故になる危険も。不正確なうわさや情報の流布によるパニックを防ぐために、まわりの人に配慮した行動を心がけます。



地下では壁伝いに移動

停電した地下街は、パニックが起こる危険性が高い場所のひとつ。地下街には60mごとに非常口が設置されているので、ひとつの非常口に殺到せず、壁伝いに歩いて避難します。



マンションのベランダ避難

ベランダやバルコニーには、火災発生時など、いざというときに蹴破って移動できる隣戸との間にある「隔て板」、下階避難用のはしごを収納した「避難ハッチ」などが設けられています。



火災時は煙から逃れる

火災の煙は命を落とす危険も。ハンカチなどで口・鼻を覆うなど、できるだけ低い姿勢で、煙を吸わないようにして移動。煙で前が見えない場合は壁伝いに避難します。

星薬科大学公開講座

「匂いは薬になりますか？」

6月8日梅雨空の中、星薬科大学の公開講座の「春の薬草見学会」に参加してきました。

講座の第一部は、京都大学准教授・伊藤美千穂先生の講演「匂いは薬になりますか？」でした。



匂い袋に入っていた生薬の一つである甘松香。このエキスや沈香オイルの匂いをマウスにかがせた実験では「匂い」は運動や睡眠、ストレスなどに影響を与えるということが分かりました。実験が進めば、「匂い」が薬となる日も来ることでしょう。

第二部は、薬用植物園見学とキャンパスツアー。植物園では学生さんが自作のパネルで効能等の説明を行い、植物から作られた生薬を見せてくださいました。

その後、大学本館、歴史資料館等の見学をし、アロマセラピー研究部の学生さんが企画されたアロマグッズ作りを体験。その他にも、野菜の苗もいただいたりと、楽しい一日でした。

(小山一丁目・河原 マサ江)

トピックス

保護犬の玄ちゃん

あさひ公園で会う保護犬の玄ちゃん。飼主は荏原三丁目に在住の名倉さん。

玄ちゃんとの出会いは、銀座の獣医師さんの譲渡会。誰にも馴染めずにいた玄ちゃんを抱っこしたのが、名倉さんの娘さんでした。

玄ちゃんは香川県丸亀市で野犬親子でいたところを保護されて、縁あって銀座の獣医師さんのところから武蔵小山の名倉さん宅に生後5か月で引き取られました。当時、7キロだった体重も今では14キロ。車の音、人間の風の音全てに怯えていた玄ちゃんも、今では調教師もついて歩行訓練もし、愛情もたっぷりかけてもらい、日に日に犬らしく育っているようです。

あさひ公園は、香川県の丸亀城主京極家の下屋敷跡ですが、玄ちゃんも丸亀の犬、名倉さんも香川県の人。本当に縁があったと思います。

最近では保護犬を多く見ますが、人間のエゴでシエルターに、そして殺処分という現状にあります。分という現状にあります。分という現状にあります。分という現状にあります。

玄ちゃんのように、保護犬で飼われている犬も多くなってきました。分という現状にあります。分という現状にあります。分という現状にあります。



(小山二丁目東部町会・山内 静子)